

# まちの財政「本当に大丈夫？」

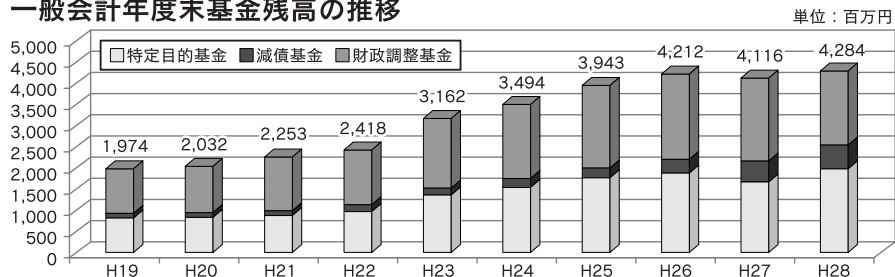


## シリーズ 第3話 「貯金と借金はどうなっているの？」

町の貯金と借金がどのように推移してきたかをお知らせします。

### 貯金はどのくらいあるのかな？

#### 一般会計年度末基金残高の推移

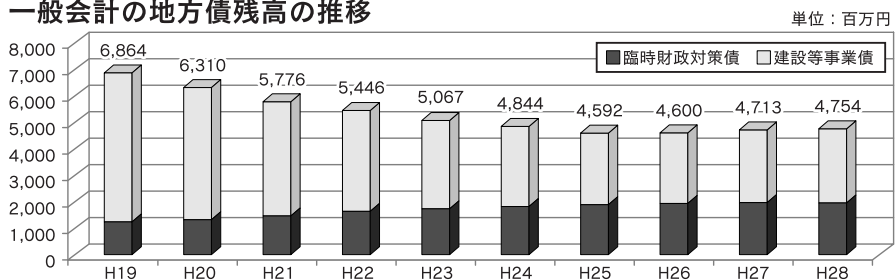


町の貯金は、平成28年度末で42億8,400万円の見込みです。ここ10年間で2倍を超える残高になっていますが、他自治体も同様の状況であり、平成27年度決算では、オホーツク管内14町で多い方から6番目の位置にあります。

基金については、財政調整基金の減額、将来の借入償還に備えた減債基金の増額、スポーツセンターなどの建設に備えた特定目的基金を増額するなどの運用をしています。

### 借金はどのくらいあるのかな？

#### 一般会計の地方債残高の推移



町の借金は、10年間で7割程度に減額され、平成28年度末見込みで建設等事業債が28億300万円、臨時財政対策債（※1）が19億5,100万円の合計47億5,400万円となっています。

オホーツク管内14町の平成27年度決算では、少ない方から3番目の位置にあります。

平成14年度残高86億2,900万円をピークに減少が続いていましたが、平成25年度を底に平成26年度は、特別養護老人ホーム「くねっぶ静寿園」の増床整備への助成、平成27年度は認定こども園「わくわく園」の整備、平成28年度は障がい者グループホーム「もりの風」建設整備への助成、防災倉庫建設などに借入れたことなどにより、微増している状況にあります。

また、借入れは償還に対する地方交付税措置のある過疎対策事業債などの有利な起債を原則としていますので、平成28年度残高見込み47億5,400万円の実質的な町の持ち出しは、約19億円と推計されます。

※1 臨時財政対策債：国の地方交付税の財源不足を地方自治体が地方債を発行して補い、償還に要する費用は後年度の地方交付税で措置されます。

※2 基金残高、地方債残高は各年度末決算数値、平成28年度は見込みとなっています。

次号では「財政のゆとり」についてお知らせします。

## 第6次訓子府町総合計画

# 「ちよつといいね！」がたくさんあるまちくねっぶ

シリーズ②～強い「産業」で活力を生み出すまちづくり～

### 1. 農業

- ①全町で9地区の道営農業農村基盤整備事業による圃場整備のほか、農道や農業用排水路などの生産基盤整備を計画的に進め、家族労働力を基本に高性能機械導入、共同利用や作業受委託などのほか、くねっぶメロンなどの特産品をブランド化、作付維持や技術伝承などを推進し、経営の近代化と効率化を図ります。
- ②畜産クラスター事業をはじめとした各種補助事業を活用した生産基盤の整備、乳牛や肉牛の品質向上、TMR（混合飼料）センターを中心とした共同化、委託化を推進し、酪農ヘルパー制度の充実などによる労働環境の改善、衛生対策、環境対策を推進するほか、共同利用模範牧場の適正な運営を促進するなど畜産経営の効率化を図ります。
- ③新規就農者、後継者への経済的支援のほか、畑作、酪農実習生の受け入れ推進、女性農業者への支援、後継者結婚対策や家族経営協定を普及させるなど農業後継者の育成を図ります。
- ④特色ある環境保全型農業を推進し、地産地消、食育の推進や6次産業化、農商工連携や有害鳥獣駆除、合併処理浄化槽整備、地域住民参加による良好な農村景観、生活環境づくり、効率的な農地の利用を推進し、魅力ある農業と理解される農業の確立を図ります。



### 2. 林業

森林の持つ多面的機能を持続的に発展させるため森林経営計画に基づき、森林施業を推進し、優良森林の育成を図り、林業後継者の確保、林道の適正な維持管理に努め、森林の保全と整備を図ります。また、SGEC（緑の循環認証会議）森林認証を受けた町有林は、環境に配慮した持続可能な森林経営の推進を図ります。

### 3. 鉱工業・企業立地

地域産業の振興や雇用の拡大のため企業誘致を継続するとともに、既存企業の発展のため中小企業特別融資などの効果的な活用や情報交換などによる企業間の連携を図ります。

### 4. 商業

商店街活性化に向けた取り組みへの支援、新規出店・店舗改修や商工業就労助成、後継者育成助成などによる支援のほか、大型小売店舗と既存商店街の連携を推進し、地域商業全体の活性化を図ります。

### 5. 観光

町全体の回遊性を高める取り組みを推進するとともに、交流人口の拡大、地域資源のブランド化、町の魅力発信を図ります。

### 6. 雇用・労働

地元企業への就業を促進するための支援を行うとともに、職業能力開発や就業相談の充実のほか、生活の拠点となる住宅確保や子育て世代への支援など雇用労働対策の充実を図ります。

来月号では、基本計画3の「いつまでも『健康』に暮らせるまちづくり」について紹介します。

